

令和 7 年度
公益社団法人 伊勢市観光協会
事業報告書

公益社団法人 伊勢市観光協会 令和7年度事業報告

令和7年度は、円安基調の継続により訪日客数が高水準を維持する中、当会においては、ゴールデンルートからの分散を狙うリピーター層の「次の目的地」となるべく、戦略的な情報発信を展開いたしました。令和6年度に引き続き、台湾やシンガポールといった重点地域でのプロモーションを継続したことで、認知度の低い伊勢志摩エリアの知名度向上に寄与したと考えております。

伊勢市観光の最重要事項である第63回神宮式年遷宮に関連しては、いよいよ諸行事が本格始動いたしました。奉曳団連合会及び奉曳本部の結成を受け、本年度は「御樋代木奉迎（みひしろぎほうげい）」および奉曳が無事に執り行われ、次年度以降のお木曳行事に向けて地域全体の機運が一段と高まった一年となりました。

事業面では、大きな転換期を迎えました。長年継続してきた「観光御師事業」を昨年度で区切り、本年度より新事業「伊勢結人（いせゆいと）」を始動させました。SNSや観光アンバサダーを主軸に据えた情報発信へのシフトにより、従来の口コミ効果をデジタル上で最大化させ、若年層を含む幅広い層へのアプローチに取り組みました。日本観光祈願祭では東海・関西圏への働きかけをさらに強め、二見地区での宿泊促進イベントや観月茶会、冬至祭といった伝統行事も、変化するニーズに対応しながら滞りなく開催いたしました。

地域DMOの取り組みについては、「稼げる観光地」の実現に向けて、伊勢市を含む関係団体との協議を継続いたしました。令和7年度は伊勢市の観光振興基本計画の策定に合わせ、市全体の観光の取り組みを実行していく「伊勢市における観光地経営戦略プラン」を策定しました。伊勢市全体を一つの会社に見立てた役割分担の明確化やリピーターの見える化、的確なマーケティングの実施など、伊勢全体の観光推進に必要な取り組みを目標として設定し、今後4年間、伊勢市を含む関係団体とともに、しっかりと取り組んでいきます。

令和7年度は新旧の制度が入れ替わり、遷宮行事が動き出す「変革と始動の年」となりました。次年度においても、令和15年の御遷宮関連事業完遂を見据え、さらに関係各所との連携を密にし、お木曳行事の成功と地域経済の活性化に邁進してまいります。

なお、具体的な事業内容は次ページより。

＜公益目的事業―旅客誘致事業＞※見出し横の事業費は経常費用を記載しております

1 広報宣伝事業（情報発信部会、青年部）

① インターネットによる情報の発信（IT 委員会） 3,435 千円

令和3年4月に更新した伊勢市との共同観光情報発信ホームページは、引き続きスマートフォンに主軸を置きながら、「現地」ならではの情報発信に取り組みました。運用開始から5年目となる令和7年度は、伊勢の観光情報をテーマ別に編集した特集記事を3本作成し、ホームページに掲載しました（特集記事内容：「主要都市から伊勢へのアクセスガイド特集」、「あずきバー食べ放題!?江戸時代にタイムスリップ!?驚きとワクワクが止まらない」、「御師特集 御師がつないだ伊勢参り」）。また、問い合わせの多い開花情報については、桜を中心に現地確認を行い、最新の開花情報をホームページや伊勢市観光協会 SNS に投稿するなど、情報提供に努めました。ホームページにはフォトライブラリーを設置し、プレス等からの写真の貸出に対応しています。

令和7年度のホームページアクセスにおけるページビュー数は、2,868,097 件セッション数は 1,613,488 件となり減少しました。A I の利用が増加するにつれ、ホームページ自体のビュー数やセッション数が減少したと分析します。A I に正しい情報を提供する意味で、H P 情報の強化は引き続き重要であることから、事業の「評価指標」については、P V 数・セッション数から最適なものに変更することを検討する必要性が出てきています。そのような状況下である一方、英語ページについては、セッション数の伸び率が 145.8%となっており、インバウンドが活気を帯びてきたことを示す結果となっています。

当協会ホームページ <https://ise-kanko.jp/>

◇ ホームページ閲覧数

	PV	セッション	PV（英語）	セッション(英語)
令和7年度	2,868,097	1,613,488	68,976	51,416
令和6年度	2,916,353	1,638,701	51,623	35,272
増 減	△48,256	△25,213	17,353	16,144
対前年比	98.3%	98.5%	133.6%	145.8%

各 SNS については、フォロワー数が順調に増加しており、特にインスタグラムに関しては、フォロワー数が1万人を超えるなど、情報発信力・拡散力の高いメディアへと成長しています。運用面では、インスタグラム用に投稿した動画をTikTokにも投稿することで、より幅広い世代（特に若年層）への情報発信を強化しました。

◇ フォロワー数

	Instagram	TikTok	Facebook	X	合計
令和 7 年度	13,800	2,220	4,005	7,849	27,874
令和 6 年度	10,650	1,325	3,424	6,915	22,314
増 減	3,150	895	581	934	5,560
対前年比	130%	168%	117%	114%	125%

SNS での情報発信を強力に推し進めるために、令和 6 年度より SNS 上での情報発信に特化した「伊勢 SNS 観光アンバサダー」制度の運用を行っており、本年もアンバサダーとして 2 名の方に伊勢の魅力を広く発信していただきました。

引き続き情報収集ツールとして主流となっている SNS を活用した情報発信について積極的に取り組んでいきます。

◇ 伊勢 SNS 観光アンバサダー名簿

No.	氏名	所属	就任
1	りほやん	インフルエンサー・ライバー	令和 6 年 11 月
2	(いせ れいら) 伊勢 鈴蘭	アンジュルム (HELLO!PROJECT 所属)	令和 6 年 12 月

伊勢市観光協会青年部Instagramアカウント (@iseshi_kanko_seinennbu) では、青年部活動や式年遷宮行事への参加状況などをリアルタイムで投稿することにより、閲覧者数及びフォロワー数の増加につなげることができました。令和 8 年度も、お木曳をはじめとした各種投稿を行い、伊勢の PR 及び青年部活動の周知に努めます。

◇ 伊勢市観光協会青年部Instagramフォロワー数

	令和 7 年度	令和 6 年度	増減	対前年比
青年部Instagram	3,463	3,120	343	111%

② 紙媒体による情報発信（情報発信部会）（パンフレット／リーフレット）

9,549 千円

紙媒体による情報発信を担うパンフレット／リーフレットは、行政と協力して観光パンフレット及び地図を作成し、観光案内所等において配布しました。

◇ 観光パンフレット及びリーフレット印刷部数

No	事業パンフレット名	予定数量	作成数量	備考欄
1	ええじゃないかお伊勢さん	10,000	10,000	総合パンフレット
2	伊勢～日本の源へ～	40,000	40,000	総合パンフレット
3	伊勢～日本の源へ～外国語版・英語	5,000	5,000	
4	伊勢～日本の源へ～外国語版・フランス語	5,000	5,000	
5	市内 Map (てくてく)	150,000	150,000	基本地図
6	二見まちあるき MAP	20,000	20,000	二見に特化した MAP
7	Map of Ise 英語	5,000	5,000	英語の市内 MAP
8	Map of Ise フランス語	5,000	5,000	仏語の市内 MAP
9	Map of Ise 繁体字	5,000	5,000	繁体字の市内 MAP
10	二見まち歩きマップ英語	5,000	5,000	
11	ランチガイド	10,000	10,000	ランチに特化したパンフレット

・ 夜マップ（青年部） 456 千円

伊勢市観光協会青年部が作成し、観光客や市内宿泊事業者から好評を得ている「伊勢の夜 食べ呑みまっぷ」を再版しました。観光客に情報提供をするため、各旅館組合を通じて伊勢市内の宿泊施設に配布するとともに、当協会所管の観光案内所にも配置しました。

◇ パンフレットの印刷部数

No	パンフレット名	予定数量	作成数量
1	伊勢の夜 食べ呑みまっぷ	5,000	5,000

③ 各種観光パンフレット類の送付

伊勢への旅行を計画している方に対し、観光情報の提供を目的として観光パンフレットを発送しました。

・ 令和 7 年度発送件数 1,226 件

④ 観光 PR 事業（情報発信部会、青年部）

・ 札幌観光 P R 事業 613 千円

伊勢市は平成 20 年から札幌で遠隔地からの誘客 P R を始め、遷宮年平成 25 年は、神宮をテーマとした大雪像を出展し誘客に繋げました。当会はその後を引き

継ぎ、札幌での観光誘客事業を継続実施しております。当該地域は他地域よりも伊勢への思いが強く、効果的な観光PRが実施できると考えます。

本年は、大通公園に程近い商業施設 Bisse の地下2階、札幌地下歩行空間に面した場所で開催しました。伊勢市からはスタンディングバナー、更に御遷宮委員会からは「祝 お木曳」の幟を借り、会場の雰囲気づくりといよいよ始まるお木曳行事についてのPRを行いました。

期 間：令和8年2月28日（土） ～ 令和8年3月1日（日）

売 上：656,440 円（総売上）

場 所：大通 BISSE（おおどおりビッセ）

連携会員：グラシヤス（SAPPORO ギフトショップ ようこそ）

・東京大神宮観光PR 448 千円

伊勢市観光協会青年部は、東京大神宮で観光PRと物産展を開催しました。「東京のお伊勢さま」と称される東京大神宮は、参拝者の伊勢への関心が非常に高く、伊勢のPRショップである「I S E M I S E」が近くにあることから、非常にPRに適した場所です。令和7年度事業では迫力ある木遣りの実演を行い、お木曳の機運醸成とPRができたイベントとなりました。

期 間：令和8年3月7日（土） ～ 令和8年3月8日（日）

内 容：木遣り実演・記念撮影コーナーの設置

キャラクターグリーティング

観光PRブース

伊勢の特産品販売（売上実績 642,050 円）

場 所：東京大神宮

連携会員：東京大神宮・BrightRoad

・PRグッズ作製（情報発信部会） 760 千円

観光PR用に下記のグッズを作製しました。

・手提げ袋（小）	350 枚	・手提げ袋（大）	300 枚
・ハンカチ	405 枚	・ピュアモルトボールペン	60 本
・ハンドタオル	500 枚	・一色ボールペン	400 本

⑤ 伊勢志摩観光コンベンション機構、伊勢商工会議所との協働による情報発信

・伊勢志摩学生団体誘致委員会（事務局） 25 千円

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構における伊勢志摩地区への学生団体旅行の誘致を行う委員会へ参画し、誘客に向けた企画立案やPR活動に協力しました。

本年は、9月3日から4日にかけて、徳島県（徳島市）及び香川県（高松市）の大手旅行会社9社を訪問し、現地セールス及びヒアリングを実施しました。ヒアリングでは、伊勢志摩地域には地方空港がなくアクセス面で不利であることや、移動距離が長いため貸切バス代が高額となり、予算内での催行が難しいこと、また、伊勢志摩における環境学習よりも、広島や沖縄での平和学習の需要が高いことなどが、伊勢志摩方面への仕向け地変更における課題として挙げられました。

・ **伊勢志摩フィルムコミッション（事務局）**

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構における伊勢志摩地区でのテレビ取材や映画撮影等の誘致、撮影協力を行なう組織に参画し、情報の共有、撮影への協力等を行いました。

・ **伊勢商工会議所及び伊勢まちづくり会社との協力事業（三役部長）**

- ・ 中心市街地活性化協議会への参画
- ・ 伊勢まちづくり会社への参画
- ・ その他

⑥ **外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）**

JNTO（日本政府観光局）の発表によると、令和7年の年間訪日外客数は4,268万人を超え、過去最高であった令和6年を大きく上回り過去最高を更新しました。当会は昨年度までの知見を活かした戦略的な海外PRを展開いたしました。

まず、令和7年11月7日から11月9日にかけて、伊勢への来訪率の高い台湾の「台北市・南港展覽館」にて開催された「ITF 台北国際旅展 2025」に近畿日本鉄道様のブースに参加し、継続的な台湾市場へのアプローチを実施しました。

また、シンガポール市場に向けては、令和8年3月27日から3月29日の日程で「シンガポール NATAS Travel Fair 2026」に出展しました。今年度は三重県観光連盟との共同出店形式をとることで、限られた予算と人員のなかで効率的かつ効果的な伊勢市の観光プロモーションを完遂いたしました。

<海外PR（台湾 ITF 台北国際旅展 2025）> 180 千円

期 間：令和7年11月7日（金）～11月10日（月）

（※協会出展は、7日～9日）

場 所：台北市・南港展覽館

内 容：ブースでの地域紹介、旅行案内、パンフレット配布、アンケート調査

参加人員：当会1名（近鉄グループブースにて出展）

ITFは台湾最大の旅行展であり、令和7年11月7日から10日までの4日間にわたり台北南港展覽館で開催されました。歴史ある旅行博で、今年の総入場者数は来場者数最高記録（365,302名）を更新しました。海に囲まれた台湾の地理的要因から国内旅行、そして海外旅行への関心の高さが見て取れました。旅行会社や観光関連施設のブースにおいて来場者は早期割引や特別価格などで旅行商品や宿泊などを購入することができることも人気の一つであると考えます。

今回は123の国と地域から、1,600を超えるブースが出展し、広い2階建て会場の1階が海外ブース、2階が国内ブースと分けられており、日本ゾーンは人気のゾーンで、過去最大規模で、他国を大きく上回る110団体、207ブースが出展しました。

<海外PR（シンガポール国際旅行博 NATAS2026）> 1,222 千円

期 間：令和8年3月27日（金）～3月29日（日）

場 所：シンガポール EXPO

内 容：三重県ブースにての地域紹介、旅行案内、パンフレット配布、
アンケート調査

参加人員：3名

三重県観光連盟との出展となり、コストを低く抑えることができました。前回

の出展で、シンガポールにおける伊勢市（伊勢志摩）の認知度が、予想よりも低いことが分かっておりましたが、日本へのリピーターであっても、伊勢志摩の情報を全く持っていないケースが多く見られました。円安基調により日本へのリピーターが増加する今、知名度を上げ、旅行客誘致を実施する良い機会としての旅行博出展は現状の有効策の一つであると考えております。

参加していた現地の旅行会社への挨拶と聴き取りにおいて、現在の社会情勢から、欧米へのツアーが避けられるなか、近くて安全なアジアへの注目が高まっており、その中でも日本は人気の旅行先だという話を複数社より聞くことができました。アジアの成長点であるシンガポールでの情報発信に関しては、今後もできる範囲で継続することが望ましいと考えます。

<海外PR（動画作成）> 1,096 千円

情報発信事業として、伊勢市インバウンド向け動画作成事業を展開しました。現在主流となりつつあるショートビデオを「外国人により、外国人目線で、外国人のために制作する」ことをコンセプトに、「Ise, Japan Through Time」と銘打ち5本のビデオを作成し公開いたしました。

⑦ 伊勢観光大使及び伊勢観光御師（御師委員会） 205 千円

首都圏等における情報発信を円滑且つ効果的に進めていく為に、協会は伊勢観光大使・伊勢結人制度を設けております。観光大使制度では、引き続き下記の伊勢出身著名人の3名に委嘱をしております。

観光御師制度は、「伊勢結人（いせゆいと）」制度へと移行しました。伊勢に所縁ある方や伊勢に思いのある方々に、ロコミや現代における情報発信の主流であるインターネットを活用した情報発信をお願いしております。初年度の令和7年度は、試行錯誤を繰り返しながら運営を行いました。今年度は、SNSを活用して事務局から情報提供を行い、その再発信をお願いしました。予定していた伊勢でのミーティングは開催に至りませんでした。伊勢結人のロゴ作成、ホームページの制作、名刺の作成及び配布を行いました。

◇ 令和7年度伊勢観光大使並びに伊勢結人名簿

	所 属	役 職	氏 名
観 光 大 使		アスリート	野口 みずき 氏
	ファンタシウム	タレント	楠田 枝里子 氏
	トゥーフロント	女優	夏樹 陽子 氏
伊 勢 結 人	伊勢うどん友の会	代表	石原 壮一郎 氏
	神楽サロン有限会社	代表取締役	奥山 秀朗 氏
	有限会社トータルシーケンス	代表取締役	長岡 成貢 氏
	有限会社サニーサイド・ブレーンズ	歌手	中西 りえ 氏
	ダンデライオンチョコレート	代表取締役社長	堀淵 清治 氏
	神輿会北海睦	会長	光永 彰 氏
	霞ヶ関キャピタル	シニアヴァイス プレジデント	矢口 太一 氏

2 誘致接遇事業

① 観光案内所事業（おもてなし・情報発信・三役部長） 24,440 千円

◇ 案内所実績表

	外宮前※＊	宇治山田駅※	伊勢市駅	宇治浦田※	二見浦	合計
令和7年度 (うち外国人)	49,540 人 (1,649 人)	—	55,266 人 (2,496 人)	—	32,423 人 (2,097 人)	137,229 人 (6,242 人)
令和6年度 (うち外国人)	46,371 人 (1,245 人)	—	51,812 人 (2,448 人)	—	26,385 人 (1,690 人)	124,568 人 (5,383 人)
対前年比	106.83%	—	106.67%	—	122.88%	110.16%
(うち外国人)	132.45%	—	101.96%	—	124.08%	115.96%

※宇治山田駅・宇治浦田・外宮前の各案内所はR4.11月までで終了。それ以降、外宮前・宇治山田駅・宇治浦田・五十鈴川駅の遠隔案内機での案内数は、伊勢市駅にてカウント。

＊外宮前は協会の観光サービスセンターとしてR5.4月から独自にカウント。

令和7年度は、全体の案内所案内数も外国人への観光案内数も増加しました。昨今はインターネットでの情報収集が主流となっており、案内所に足を運ぶ数は増加しない傾向が出ていましたが、お木曳前年となり、テレビなど伊勢の広報も増加傾向にあることから好調となったと分析します。

各案内所で行う365日の電話問合せはもちろん、伊勢市駅観光案内所では遠隔案内機の対応と、ホームページに掲載しているチャットボットのリアルタイムチャットへの対応も随時行いました。

今後、遷宮に向けて、需要に応じた案内機能を提供できるようにするとともに、外貨獲得に向けてインバウンド需要も伸ばせるよう、案内所における外国人の受入環境整備も整えていきます。

② 各種大会の接遇（事務局） 139 千円

下記の各種大会に歓迎看板の掲示を行いました。（）内は設置場所

- ・神宮奉納大相撲（近鉄宇治山田駅）
- ・全日本学生弓道大会（神宮会館）
- ・伊勢神宮奉納社会人野球大会（ダイムスタジアム伊勢）
- ・伊勢神宮新穀感謝祭（近鉄宇治山田駅）

③ レンタルサイクル事業（青年部） 3,330 千円

各案内所等においてレンタサイクル用自転車を52台（車種別内訳：シティサイクル17台、電動自転車20台、E-BIKE15台、場所別内訳：外宮前観光サービスセンター12台、伊勢市駅手荷物預かり所32台、二見浦観光案内所8台）を維持管理、運用しています。

本年度の貸出件数は合計4,144台で、前年度合計4,267台から3%減少しました。利用台数は、伊勢市駅手荷物預かり所のみ減少しており、これは、荷物預かり件数の増加に伴い、繁忙日に受付混雑のためレンタルサイクルの受付を停止した

ことが影響したものと考えられます。今後は、需要に対応できるよう、人員体制をはじめとした受入体制の強化に努めます。また、2 次交通確保の為、近畿日本鉄道が運営するシェアサイクル「HELLO CYCLING」のバッテリー交換等に協力しています。（レンタサイクル収益計 507 万円）

◇ レンタサイクル利用台数

	外宮前観光 サービスセンター	伊勢市駅 手荷物預かり所	二見浦 観光案内所	計
令和 7 年度	1, 116	2, 644	384	4, 144
令和 6 年度	1, 086	2, 854	327	4, 267
増減	30	△210	57	△123
前年度対比	103%	93%	118%	97%

④ ガイド事業（おもてなし行事部） 333 千円

神宮のガイドを行う「お伊勢さん観光ガイドの会」が外宮前観光サービスセンターに常駐し、日々観光客の神宮ガイドを務めています。令和 8 年 3 月 31 日現在の会員数は 45 名です。

令和 7 年度のガイド件数は 2, 538 件で、6, 318 人の観光客を案内しました。ガイド会員数は減少しているにもかかわらず案内数が増加した要因は、高齢のガイドが退会したにもかかわらず、お木曳の機運が高まったためガイドの需要が増加したことと、令和 6 年度に 14 期生を育成したことにより、実施できるガイド回数が増加したこと等があると分析します。

◇ ガイド実績数

	案内件数	案内人数	件数 対前年比
令和 7 年度	2, 538	6, 318	104%
令和 6 年度	2, 443	5, 846	91%
令和 5 年度	2, 690	6, 480	147%
令和 4 年度	1, 833	6, 796	215%

⑤ 伊勢二見ビーチ活性化事業（おもてなし行事部） 5, 059 千円

・二見浦海水浴場の運営

令和 7 年 7 月 26 日から令和 7 年 8 月 17 日の延べ 23 日間（令和 6 年度は 37 日間）、二見浦海水浴場ビーチハウス 3 階に監視所を設置し、利用者が安全・安心に海水浴を楽しんでいただけるよう海水浴場を運営しました。海水浴場の開設にあたっては、浜開き式を開催し、安全を祈願しました。

◇ 二見浦海水浴場 利用者数（単位：延べ人数）

	海水浴客数	駐車場利用台数
令和7年度	3,611	1,988
令和6年度	4,670	2,503
増 減	△1,059	△515
対前年比	77.3%	79.4%

・夜の浜参宮事業

令和4年度に、二見エリアの活性化のため、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に応募し、看板商品候補を作成しました。協働構築したジェイアール東海ツアーズとともに、「夜の浜参宮」を販売しています。

令和5年度には、5回の催行で108名にご参加いただきましたが、令和6年度は、2回の催行で35名、令和7年度は2回予定のうち1回の催行で、9名の参加となりました。参加者アンケートから満足度と県外率は高いため、参加しやすい時間帯を再考することとしていきます。

実績：催行1回9名（最少催行人員未達1回）

・二見サマーフェスティバル 2025（8月9日）

二見浦海水浴場の開設に伴い、毎年恒例の【二見サマーフェスティバル 2025】を開催いたしました。ヨガスタジオプラナと連携したサンライズヨガ、ポイントヨガ、親子ヨガは58名、フリスビー飛ばし大会は30名、ビーチサンダル飛ばし大会は161名、宝まきは450名が参加しました。ビーチサンダル飛ばし、宝まきの当選商品には会員の皆様からご協賛いただいた商品を配布しました。

また小さな子どもの遊び場を設置し、キッチンカー13店舗が出店した他、ドン・キホーテ伊勢店とコラボした縁日には521名が参加いたしました。当日は、皇學館大学のレクリエーション部にも協力をいただき、地域の活性化に繋がるイベントが実施できました。

・二見オータムフェスタ in ハロウィン（10月18日）

【二見オータムフェスタ in ハロウィン】を10月18日に開催いたしました。当日は、ドン・キホーテ伊勢店とのコラボ縁日（松林）、フォトスタジオ（二見ミーティングセンター）、灯りの小道、キッチンカー（松林）、ふるまい、キャンプファイヤー（ビーチ）等を行いました。また、回遊性を高め滞在時間の向上を図るため、新たにスタンプラリー、VR 闇怪談【ひとりかくれんぼ】等を実施しました。

当日は、フォトスタジオに200名以上、スタンプラリーに230名、フェイスシール配布に180名、ドン・キホーテの縁日に378名、マシュマロ焼き体験に300名、焼き芋のふるまいに180名、VR 闇怪談に61名、参加いただきました。キッチンカーも14店舗に出店していただきました。

昨年、夕方からの来場者が少なかったため子ども向けのスペシャルイベントを17時から実施いたしました。子育て世代を中心に100名以上の参加があり、昨年度に比べ17時以降の来場者数が大きく増加しました。

・二見ヒーリングナイト(11月15日)

【二見ヒーリングナイト】を実施いたしました。当日は二見浦海岸のライトアップ、ヒーリングミュージックの再生、を行いました。また、二見の事業所様にもご協力頂き二見興玉神社では夜の参拝、めもと横丁では夜間営業等を実施いただきました。賓日館では、大広間で二胡の演奏を聞きながらのヨガ体験が人気で69名が参加をしました。

また、伊勢シーパラダイスと連携して実施した390円で入館できる「ナイトアクアリウム」には1,137名、シチューのふるまいには380名の方にご参加いただきました。夫婦岩表参道のお店4店舗にも夜間営業にご協力いただき、地域全体でイベントを盛り上げることができました。

さらに、会場周辺に警備員を配置し、伊勢シーパラダイスの入館を事前予約制としたことで、大きな混雑や渋滞もなく、スムーズに入館していただくことができました。

今後もイベントの認知度向上に努めるとともに、二見地域の事業所の皆様と連携しながら、地域の活性化につながるイベントを企画してまいります。

・二見まち歩きスタンプラリー2025(2月7日～3月8日)

二見町をまち歩きし、二見地域の魅力を再発見していただくことを目的として、新規企画として開催しました。

スタンプを集めながら街を回遊でき、観光客の滞在時間の延長や地域活性化に繋げる取り組みとなっています。

完走者数が1,303名、半数以上が県外からの参加者でした。市内参加者は26%に留まり、参加者の多くが観光に訪れた方々だったことから、観光客の誘致、および地域周遊の促進に一定の効果があったと考えられます。

賓日館が約6年間の休館に入ることとなり今後二見エリアでの滞在時間をどのように延ばしていくか検討する時期となっています。

今回の実施により得られた課題や参加者の反応を踏まえ、今後のイベント運営の改善、及び更なる参加促進、滞在時間の延長に繋げていきたいと考えています。

・二見周遊促進事業

二見の代表的名所旧跡である、夫婦岩及び二見興玉神社を軸とした体験・アクティビティコンテンツを、じゃらんサイトで継続して販売しました。

・チャージスポットを活用した二見周遊事業

スマートフォンが旅行や出張の必需品となっており、旅行の利便性向上を図るため、スマートフォンやタブレット、カメラ等が充電できる3タイプのケーブルが内蔵されたモバイルバッテリー自動貸出機・チャージスポットを導入し、伊勢市内の観光店舗／スポット10カ所に設置し、在庫管理等運営を行いました(観光協会管理：内宮エリア6台、外宮エリア3台、二見エリア2台、合計11台設置)。

利用数は、貸出数2,042件、返却数1,386件で前年比7.1%増加となりました(実績算出期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日)。増加の要因は、伊勢シーパラダイス内にチャージスポットを設置したことだと推測されます。

また、チャージスポットのデジタルサイネージにて、二見の絆体験や手荷物預かり等、様々なイベント情報を放映し、発信に努めました。災害時には、無料でバッテリーを貸し出す防災のためのインフラとしての役割も果たしています。

⑥ 手荷物預かり事業（三役部長）

34,122 千円

伊勢市駅手荷物預かり所において、手荷物一時預かり及び伊勢鳥羽志摩地域の宿泊施設への当日荷物配送を実施しました。当日荷物配送については、13 時 10 分までに受け付けた荷物を宿泊先へ当日中に配送することで、利用者が荷物を気にすることなく、手ぶらで快適に伊勢市内観光を楽しめる環境の提供に努めました。また、手荷物事業に付帯して、伊勢市駅手荷物預かり所建屋の管理運営（多目的トイレ、授乳室、休憩所など）や簡単な観光案内などを行いました。また、外宮前観光サービスセンター、二見観光案内所では手荷物一時預かりを実施しました。

令和 7 年度は、伊勢市駅手荷物預かり所における一時預かり取扱個数が前年度比で 1 万個以上増加しました。また、宿泊施設への当日配送についても 1,600 個以上増加し、好調に推移しました。

総取扱い金額は、伊勢市駅 4,298 万円（前年度 3,242 万円）、外宮前観光サービスセンター 282 万円（前年度 224 万円）、二見浦観光案内所 96 万円（前年度 79 万円）と、それぞれ増収となりました。

◇ 手荷物預かり実績（場所別）

単位：個

	伊勢市駅 手荷物預かり所		外宮前 観光 SC	二見 観光案内所	合計
	預かり	配送	預かりのみ	預かりのみ	
令和 7 年度	45,507	12,536	7,421	3,198	68,662
令和 6 年度	34,625	10,888	7,486	2,659	55,658
増減	10,882	1,648	△65	539	13,004
対前年比	131%	115%	99%	120%	123%
平成 31 年度 参考値	30,420	16,976	3,476	-	-

◇ 手荷物預かり実績（種類別）

単位：個

	ホテル配送	一時預かり	合計
令和 7 年度	12,536	56,126	68,662
令和 6 年度	10,888	44,770	55,658
増減	1,648	11,356	13,004
対前年比	115%	125%	123%

⑦ おもてなし研修（おもてなし行事部） 170 千円

令和 7 年 12 月 11 日 実施

おもてなし研修として、「～AI 基礎セミナー～」を、伊勢市及び伊勢商工会議所と共催しました。市内事業者や市民の方 45 人が参加し、活用のコツを学びました。研修満足度は 100%と、高評価でした。

⑧ その他

・御遷宮対策事業（おもてなし行事部、事務局）

伊勢御遷宮委員会の一員として、令和 15 年の第 63 回神宮式年遷宮に向けて様々な協議を進めました。併せて、広報紙の発行や初穂曳など、伝統行事の継承を軸に、民俗行事の遂行に協力をしました。また、「参宮紙札」を参拝された方にお渡しする事業にも協力をしました。

本年は、御遷宮委員会のもとで御樋代木奉迎・奉曳に協力しました。令和 8 年度及び 9 年度のお木曳行事に向けて、特別神領民へのおもてなしの準備を進めました。また、御神木が奉伐される長野県上松町において開催される「御神木祭」に観光物産展を出展し、伊勢の観光 PR と御遷宮の PR を実施しました。

・長野県上松町御神木物産展 193 千円

令和 7 年 6 月 4 日～令和 7 年 6 月 5 日

御神木が奉伐される長野県上松町において開催される「御神木祭」に観光物産展を出展し、伊勢の観光 PR と御遷宮の PR を実施しました。

・せんぐう旅

三重県、近鉄、その他伊勢志摩地域の官民が一体となって進める一大キャンペーン「せんぐう旅」に参画し、御遷宮を盛りあげる各種事業に協力いたしました。引き続き伊勢志摩で協力して進めていきます。

・マスコットキャラクター事業（青年部） 28 千円

伊勢市観光協会公式キャラクター「伊勢まいりんくん」は、令和 7 年度は、伊勢市内でのイベントに 4 回、東京（東京大神宮観光 PR）で 1 回の活動を行いました。その他、イベント冊子用として、イラストの貸し出しも行いました。

3 観光イベント事業

① 「伊勢楽市」事業への協力（事務局）

・春季 4 月 19 日～20 日、秋季 11 月 1 日～2 日の 2 回開催

観光客を始め、市内外から多数ご来場いただきました。伊勢志摩の地場産品にこだわり、観光客のみならず伊勢市民にも喜ばれております。各種団体の PR ブースを配置するなど、外宮前の活性化にも貢献しました。

② 第 73 回伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）

令和 7 年 7 月 19 日開催

伊勢市観光協会は、花火大会当日の観客誘導や来賓対応を行いました。観客動員数は 20 万人でした。

③ 観月茶会（おもてなし行事部） 268 千円

令和 7 年 10 月 6 日開催

神宮司庁主催の観月会に併せて実施した観月茶会は、堀崎社中奉仕のもと、茶菓子とお茶の振る舞いを行い、観光客や地元伊勢の方など 305 名が、中秋の名月とともに呈茶を楽しみました。

④ 日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議（観光祈願祭実行委員会） 404 千円

令和 7 年 10 月 29 日開催

第 58 回日本観光祈願祭を外宮にて斎行しました。三重県の近隣県（東海・近畿地方）の行政及び観光関係者 74 名と共に、観光産業の健全な発展と旅行の安全を神宮へ祈願しました。

また、観光交流伊勢会議基調講演を実施しました。124 名が神宮司庁音羽悟氏の講演を拝聴し、式年遷宮、伊勢神宮についての見識を培う有意義な時間となりました。

⑤ 冬至の奉納（おもてなし行事部） 63 千円

令和 7 年 12 月 22 日早朝 実施

柚子 15kg と南瓜 30kg を総勢 26 名で神宮に奉納しました。

⑥ 年越餅つき行事（おもてなし行事部） 147 千円

令和 7 年 12 月 25 日 実施

外宮衛士見張所付近の特設会場で、猿田彦神社宮司様により神事を行いました。当日は雨天予報のため、奉納餅つきは引き続き特設会場テント内にて、市長をはじめ関係者 27 名で実施しました。ついた餅は外宮に奉納し、餅つき体験や餅の振る舞い（限定 200 食）を行いました。

⑦ 協会が協力した諸行事

本年度、下記行事に後援及び協賛しました。

- | | |
|---------------|---------------------|
| ・猿田彦神社御田祭 | ・五十鈴川桜まつり |
| ・倭姫宮春秋の例大祭 | ・伊勢まつり |
| ・新道商店街伊勢の夜祭 | ・外宮奉納市 |
| ・高柳商店街夜店 | ・伊勢神宮奉納書道展 |
| ・おかげ横丁夏まちまつり | ・来る福招き猫まつり |
| ・お伊勢さんマラソン | ・社会人野球 JABA 伊勢・松阪大会 |
| ・神恩感謝日本太鼓祭 | ・伊勢のだいどこ河崎商人市 |
| ・全日本学生弓道王座決定戦 | ・猿田彦神社七五三祭 |
| ・鳥羽みなとまつり | ・金剛證寺開山忌 |
| ・松尾観音寺初午大祭 | ・全日本中学生ソフトテニス大会 |
| その他 | |

4. 観光情報の調査研究および満足度向上に関する事業

・ 先進地研修事業（青年部） 200 千円

令和 7 年 10 月 7 日～令和 7 年 10 月 8 日（参加者 14 名）

大阪・関西万博の開催によりインバウンドで賑わう大阪府を訪問し、インバウンド誘致の施策やその対応等について研修すると共に、開催中の万博や大阪市を視察・体験することで、伊勢市における観光振興に資する新たな知見を得ることを目的としました。

講演いただいた大阪観光局担当者からは、「観光は地域の総合的戦略産業」という考えのもと、観光という枠にとらわれず、都市・経済・文化の政策として様々な地域の魅力を創っていく「司令塔」としての役割を担うことで、「世界最高水準アジア No.1 の国際観光文化都市」を目指して活動を行っているとのことのお話がありました。また、「日本の観光ショーケース」と銘打つ大阪を日本観光の「ショーケース（見本市）」として位置づけ、国内各地の観光資源・魅力を海外・国内の観光客に発信し、周遊促進につなげるためのプロジェクトも実施されていることの説明がありました。その他、伊勢にはない多くの施策や考え方を本研修視察において研修することができました。

・ **先進地研修事業（親会）** 186 千円

令和 7 年 5 月 20 日～令和 7 年 5 月 21 日（参加者 27 名）

第 63 回神宮式年遷宮における御樋代（みひしろ）木（御神木）が伐り出される御杣山がある長野県上松町に赴き、過去の奉伐地等で御樋代木について研修を受けました。併せて御樋代木が伊勢へ到着するまでの立ち寄り地（奉安地）を視察し、20 年に一度の街の盛り上がりなどの視察を行いました。各立ち寄り地での御神木奉迎・奉祝ムードが良くわかり、伊勢での奉迎と奉曳の成功を心に誓う良い機会となりました。

・ **EV モビリティを活用した周遊企画「伊勢ぶちたび」造成（三役部長）**
（長期滞在・周遊向上促進事業）

EV モビリティを活用した新たな伊勢市内周遊企画を、他地域で成功事例のある民間企業と連携して造成し、販売・プロモーションも行いました。株式会社たびぞうが提供する、EV モビリティ（EV トックトック 1 台及び EV ミニバイク 4 台）を使った滞在・周遊ルートの提供も行いました。

＜収益事業等—賃貸事業＞ （三役部長）

収益 2,065 千円、費用 381 千円

伊勢市駅前ビルを賃貸物件として運用、風餐亭 1F 研修室は貸し会議室として運用しています。

- ・ 伊勢市駅前ビル 鉄筋 4 階建て
- ・ 風餐亭 1F 研修室

＜収益事業等—物品販売事業＞ 収益 24,263 千円、費用 14,843 千円

① **EC サイト事業（情報発信部会）**

令和 2 年度に新型コロナウイルス対策事業において、事業者支援策の一環として開始した EC サイト事業ですが、コロナ禍が終息し役目を終えたとの判断から 12 月をもって受注を停止し当 EC サイトの閉鎖を行いました。

12 月までの売上総額は 102 万円です。

② 伊勢市ふるさと応援寄附金返礼品対応事業 （三役部長）

伊勢市ふるさと応援寄附金返礼品の対応業務を、伊勢市から受託しています。通常のふるさと納税の「返礼品管理及び寄附者対応等業務」、「返礼品の発注・発送等に関する業務」に加え、旅行に来た時にその場で寄付して即時に使えるポイントを返礼品として受け取れる「旅先納税」の業務を受託しています。令和7年度はPRに関する部分で、楽天ふるさと納税の返礼品ページの改修を行いました。

令和7年度の実績は、寄附件数が13,832件（前年12,268件）、寄附額が568,141,399円（前年519,691,574円）となり、4,845万円寄附額が増加しました。伊勢市に沢山寄附をしてもらえば、伊勢のまちが良くなることに利用されます。令和8年度も寄付額の向上に取り組めます。

<収益事業等—会員互助事業>

令和8年3月31日現在 会員数 正会員 460 賛助会員 19
（入会数 23、 退会数 12）

① 広報紙「ええじゃないか伊勢」の発行（情報発信部会、青年部） 286千円

情報発信部会及び青年部の共同制作の会員広報紙として、第42号を11月1日に600部発行しました。

② 青年部会員互助事業 108千円

グループウェアを活用し、効率的な組織運営を行いました。

③ 会員交流会（三役部長） 231千円

会員相互の親睦を図るため、年末の12月2日、野あそび棚で会員交流会を開催しました。計103名の参加があり、相互に懇親を深めるとともに、積極的な意見交換を行うことができました。

<法人事業> （三役部長）

新体制が6月に発足し、新たな体制が敷かれることになり、中期政策検討部会役員で構成される三役部長級会議へとその役割を引き継ぎました。

本会議では、引き続き協会運営に関わる重要事項や、コンプライアンス対応を協議及び実施しました。本年度は参画している御遷宮委員会のお木曳事業など、来る様々な事業について議論がなされました。

観光地域づくり法人（地域DMO）としては、伊勢をどのように「観光で稼げる地域」にしていくのかということについて、行政、商工会議所、まちづくり会社、そして当会の担当者と共にDMO会議を組織し、外部専門家の助言も得ながら検討を続けてきています。令和7年度は、伊勢市観光振興基本計画の策定にあわせ、地域DMOとして、伊勢市の観光全体に関する「伊勢市における観光地経営戦略プラン」を構築しました。今後は実行計画にのっとり、「伊勢に必要なマーケティングの実施」「市内観光団体トップ層の会議体の発足」等の実現に向けて計画期間の4年間しっかりと取り組んでいきます。

令和7年度は、式年遷宮事業積立金として、250万円を積み立てました。この積立金は、令和15年までに計画的に使用します。